

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第 1 面)

産業廃棄物処理計画書	
令和 5 年 6 月 30 日	
浜松市長 中野 祐介 殿	
提出者	
住所 静岡県浜松市東区中田町846番地	
氏名 東海染工株式会社浜松事業所 事業所長 八代 健太郎	
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)	
電話番号 053-461-9141	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	東海染工株式会社浜松事業所
事業場の所在地	浜松市東区中田町 8 4 6 番地
計画期間	令和 5 年 4 月 1 日から令和10年 3 月 3 1 日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	染色整理業
② 事業の規模	3,603百万円
③ 従業員数	200名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(日本工業規格 A列4番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

- (1) 工場の長を「産業廃棄物統括責任者」とし、工場における産業廃棄物に関し統括する。
(2) 総務課長を「産業廃棄物処理責任者」とし、工場（経理、業務、設管理etc）における産業廃棄物に関し、統括する。
(3) 廃棄物関係の経理、行政への報告、社員教育を担当する部門として、「総務課」
廃棄物の搬出、減量化、再生利用の研究等を担当する部門及び、処理施設の維持管理、整備計画等を担当する部門として「生産施設課」を置く。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	— t	t
	(これまでに実施した取組) ①圧縮機導入による、廃プラスチック類のボリュームの減少 ②活性汚泥処理増強による、脱水汚泥の削減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	排出量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) ①廃繊維品の再生化（絨毛業者による商品化）		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①品目ごとの保管場所の設置
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ①廃繊維品の再生利用品目の選定

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） ①反物の紙管の再利用 ②染料缶を産廃処理していたが、計量溶解容器に使用（別途購入していた）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） —		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） ①脱水汚泥の凝集剤のテスト（含水率の低下）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） ①—		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) ①—		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) ①—		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全処理委託量	— t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	— t
		再生利用業者への処理委託量	— t
		認定熱回収業者への処理委託量	— t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t
	(これまでに実施した取組) ①処理委託業者の選定及び処理委託業者の集約		

②計画	【目標】		
	産 業 廃 棄 物 の 種 類		別紙のとおり
	全 処 理 委 託 量		— t
		優良認定処理業者への処 理 委 託 量	— t
		再生利用業者への処 理 委 託 量	— t
		認定熱回収業者への処 理 委 託 量	— t
		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への 処 理 委 託 量	— t
	(今後実施する予定の取組) ①更なる処理委託業者の選定及び処理委託業者の集約 ②処理委託業者後の埋立の産業廃棄物を埋め立てから再生業者に変更（燃えがら）		
	※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物発生量の目標

[illegible]

(単位 ton)活性汚泥の排出量のみn

産業廃棄物の一連の処理の工程および自社の中間処理量、委託処分量(ton)

[illegible]

(単位 ton) 活性汚泥の発生量のみ m^3

①の処理工程欄は産業廃棄物の発生場所

工場配置図及び保管場所、中間処理施設の一連の工程

